

脊椎・脊髄障害の症状（Ⅱ）

下肢の症状についてです。足のしびれや痛み，下肢に放散する痛みは先ほどの坐骨神経痛です。椎間板ヘルニアの症状ですね。それからつまずきやすい，脚がもつれやすい，歩きにくい。歩行障害というのはいろんなところで出てきますが，つまずきやすいとか，脚がもつれるというのは，腰の症状というよりも頰が悪くて脚が歩きにくいということがあります。特に階段の下りるのが怖くなるというのは，腰ではなくてむしろ頰椎の症状ですね。それから間歇性跛行。法律用語も難しいと思いますが，医学用語もここまで難しくしなくてもいいだろうと思います。間歇性跛行という言葉は，歩いているうちに脚がしびれてきて歩けなくなる。休むとまた歩けるようになるというのが間歇性跛行といいます。このような症状が下肢の症状です。

それから当然，腰の症状は腰痛です。ぎっくり腰とは急に痛くなるということです。